

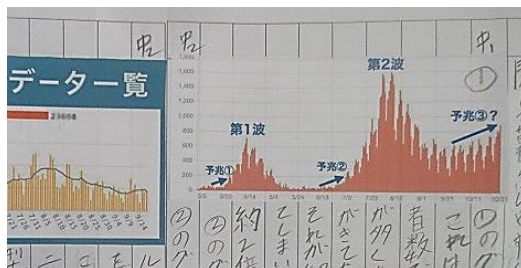
「わたしたちの社会はくらしやすい方向へ向かっているか？」

校長 井上 邦夫

5年生が国語の「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう」の単元で、グラフや表を用いて作文を書きました。廊下に掲示された作文を読んでいて、よく考えて書いているなあと感心しました。そのうちの二つを下に紹介します。

私は、社会はくらしやすい方向に向かっていると思います。今では、コロナが流行しています。絶対とは限りませんが、マスクや手洗い、換気をすることが大切です。みなさんがこの活動をするだけで、人の命は助かります。〈中略〉

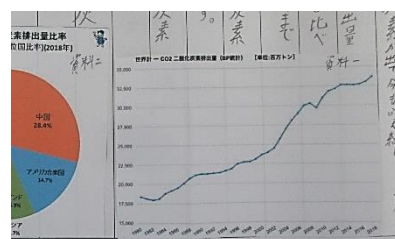
①のグラフを見てください。これは、コロナウイルスの感染者数です。初めは感染者数が多くありませんでしたが、第1波がきて亡くなる人も出てきました。それが終わってからも油断をしてしまい、第2波では第1波より、約2倍もの感染者が出てきました。〈中略〉



コロナとはこわいもので、ワクチンを打っても必ずかからないとは言い切れません。しかし、今では初めに言ったとおり、コロナを少なくする活動をしているため、くらしやすくなっていると思います。ただ油断をしたらダメだと分かりました。そのためには、みなさんの努力が大切です。

私は、日本社会が、くらしにくい方向に向かっていると思います。なぜなら、二酸化炭素が増え続けているからです。身の回りでも車などから二酸化炭素が出て、今も増え続けています。

資料一は、世界の二酸化炭素排出量を表しています。1980年と2018年を比べてみましょう。1980年から2018年まで、15500万トンも世界で二酸化炭素を排出していることが分かります。〈中略〉



二酸化炭素が今も増え続けているから、くらしにくくなってくるのだと思います。他にも日本は小さい国なのに、二酸化炭素が5番目に多いということも分かります。

私は、車にはあまり乗らず、バスや電車に乗って、二酸化炭素の排出を減らそうと思います。そうすることで、地球温暖化や環境問題が少しでも減ると思ったからです。

資料から、今、話題になっていることを踏まえながら、自分たちのくらしについて分析し、自分の意見を明確にしながらまとめています。「自分の考えをもつ」ことの大切さを、子どもたちの作文から学びました。

* 5年生廊下に掲示された作文 ⇒



本をたくさん読んで、心を豊かにしよう

図書委員による読み聞かせ



学校の統合にむけて 「師小ランドの遊具」の移設・撤去について

※スクールバスの待機場や校地内の駐車場を拡張するために、師小ランドにある遊具の移設や撤去を予定しています。工事の時期は、12月下旬（冬休み）を予定しています。なお、工事期間中は、師小ランドへの立ち入りできませんので、ご了承ください。



運動場へ移設する遊具
(ジャングルジム, うんてい)

撤去する遊具
(ブランコ, すべり台, 登り棒)



「みなさんの声をお聞かせください」について

先日、「学校行事や学習活動、学校統合による新しい学校のこと……」について、不安なことや疑問に思うことを書いていただきました。紙面の都合上、一部を掲載します。くわしくは、1月中旬の「学校評価アンケート」と合わせてまとめさせていただきます。なお、この件についてのお問い合わせは、教頭（都筑）へご連絡（師崎小 63-0001）ください。

Q：大井小学校はジャージの指定はないと聞きました。体操服やハーフパンツは、小さくなった時に指定されたもの買い換えようと思っています。早めに教えてもらいたい。

A：11月11日発行の「みさき小学校だより 第5号」の2ページ目に記載してあります。

- ・現在使っている体操服（大井小・師崎小指定の物）を引き続き使っていただけます。新しく購入する場合は、現在のものか「白基調のもの」にしてください。
- ・ハーフパンツは、現在使っているもの（大井小・師崎小指定のどちらか）を使っていただけます。
- ・ジャージについては、特に指定はしません。（運動に適したものにしてください）

Q：「PTAの定数について」 師崎地区の方が人数が少ないのに、大井・片名地区と同じ人数にするのはおかしいと思います。統合するにあたって、地区ごとで考えなくてもいいと思います。

A：PTA委員の人数については、およそ児童10名に対して1名の委員を目安にしています。また、選出方法や委員の人数等について、R4年度については今回定めた会則・規約に則って行いますが、今後の方向性については、PTA委員会等で協議させていただきます。

師崎小のホームページにも学校だより「kujira」を掲載しています。（カラーで見ることができます）